

平面図形(基本の作図)

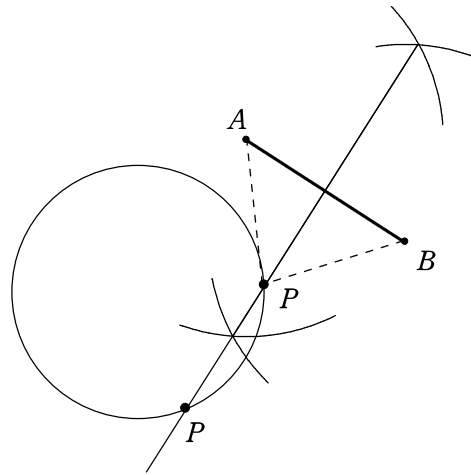
学年		組		氏名	
----	--	---	--	----	--

- 1 右の図のように、2点A、Bと円Oがあります。円Oの周上にあって、 $AP = BP$ となる点Pを作図しなさい。また、その方法で作図できるわけをかきなさい。

点Aと点Pを結んで線分ABをかく
 線分ABの垂直二等分線は、点Aと点B
 から距離が等しい点の集まりなので、
 垂直二等分線と円Oの交わった点
 が、円Oの周上にあって、 $AP = BP$ となる

【ポイント】

- 垂直二等分線をかいて、2点を求めている。
- 垂直二等分線が2点から等しい点の集まりであることをかいている。



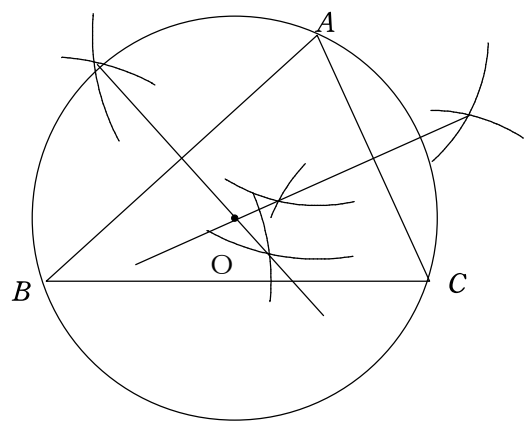
- 2 下の図のような $\triangle ABC$ があります。3つの頂点A、B、Cを通る円を作図しなさい。作図の方法(方針)をまとめてから作図しなさい。

作図の方法↓

線分ABの垂直二等分線をかく。これだけでは、円の中心が求められないので、次に線分ACの垂直二等分線をかく。2本の垂直二等分線が交わったところが、3つの頂点A、B、Cを通る円の中心である。Oを中心として半径OAを円のかく。

【ポイント】

- 2辺において垂直二等分線をかき、円の中心を求めることをかいている。
- 円の中心から半径を決めて円をかくことをかいている。



この円を $\triangle ABC$ の外接円といいます。

☆線は点の集まりです。作図した線がどういう点の集まりなのか考えましょう！